


# ジョブファイルとは？

TNT ジョブ処理システムは、単純な XML テキストファイル構造を使って、特定のジョブに必要な処理パラメータを全て記録します。ジョブファイルは、実行する TNT 処理や、入力 / 出力オブジェクトやファイル、ジョブに固有な処理パラメータおよびその値を記述します。例えば、ラスタオブジェクトを JPEG にエクスポートするジョブファイル(下のボックスにサンプルが示されています) では、エクスポート処理であること、入力ラスタ、出力 JPEG ファイルの名前とパス、JPEG エクスポート処理に対するその他のパラメータの値を記述しています。

TNTmips の処理ウィンドウの [ジョブの実行 (Run Jobs)] ボタンまたは [Save Jobs (ジョブの保存)] ボタン  を押すと、適切にフォーマットされたジョブファイルが自動的に作成されます。これらのファイルはジョブマネージャで指定したジョブディレクトリに自動的に書き込まれます。

また、ジョブファイルを使って SML スクリプトで実行可能なカスタム地理空間処理も実行することができます。そのようなジョブファイルでは (下のボックスにサンプルが示されています)、実行する SML 処理スクリプトや、ジョブに固有なスクリプト変数の名前や値を記述しなければなりません。複数のジョブに対して入力オブジェクトを選択したり、処理パラメータの値を設定したり、ジョブファイルを書き込むためのインターフェースを提供する入出力プログラムを作ることでもあります。入出力プログラムは、別の TNTmips のスクリプト (詳しくはテクニカルガイドの“システム: 地理空間スクリプトを使ったカスタムジョブ処理 (System: Custom Job Processing with Geospatial Script)”をご覧ください) やウェブクライアント(ジョブファイルが書くための HTML 形式や JavaScript で出来たウェブページのようなもの。テクニカルガイドの“システム: ウェブクライアントによる TNTmips 処理の実行 (System: Web Clients Run TNTmips Processes)”をご覧ください)、他のカスタムプログラムです。入出力プログラムに SML スクリプトを使うと物事が簡単です。というのは、適切な XML 構造を持ったジョブファイルを数多く自動的に作成するのに簡便な方法であり、それらをジョブディレクトリに書き込むことができるからです。カスタムプログラムやウェブクライアントのセットアップでは、下の見本に示されるような適切な XML 形式に従ったジョブファイルを手動で書かなければなりません。

[ジョブの実行] ボタンと [ジョブの保存] ボタンを押すことによって TNTmips 処理が自動的に作成するサンプルジョブファイル (エクスポートの例)。

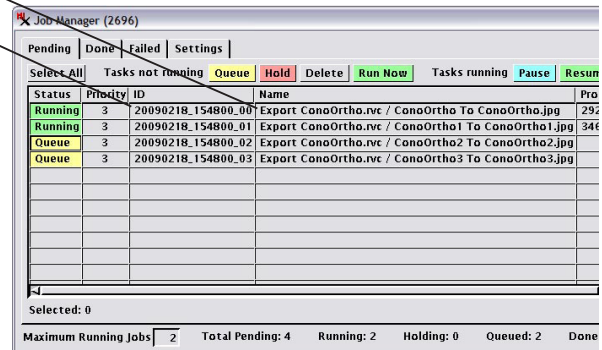
ジョブマネージャの中のジョブの説明

ジョブマネージャの中のジョブ ID

実行する TNTmips 処理

処理ダイアログの中で設定された処理パラメータの値の一覧

```
<?xml version="1.0"?>
<job id="20090130_135812_00">
  <desc>Export ConoOrtho.rvc / ConoOrtho To ConoOrtho.jpg</desc>
  <process>tntdisp exportjob</process>
  <version>75</version>
  <priority>3</priority>
  <runparms>
    <input id="Input">
      <filepath>C:\Plates75\JobFiles\ConoOrtho.rvc</filepath>
      <objectpath>ConoOrtho.RASTER</objectpath>
    </input>
    <output id="Output">
      <filepath>!PC!\C:\Plates75\JobFiles\ConoOrtho.jpg</filepath>
    </output>
    <variable name="Format">
      <value>3800</value>
    </variable>
    <variable name="GeorefType">
      <value>1</value>
    </variable>
    <variable name="DoSingleFile">
      <value>0</value>
    </variable>
    <variable name="NullExportMode">
      <value>0</value>
    </variable>
    <variable name="DoContrast">
      <value>0</value>
    </variable>
    <variable name="CharEncoding">
      <value>0</value>
    </variable>
    <variable name="CompressQuality">
      <value>75</value>
    </variable>
  </runparms>
</job>
```



Status	Priority	ID	Name	Pro
Running	3	20090218_154800_00	Export ConoOrtho.rvc / ConoOrtho To ConoOrtho.jpg	29%
Running	3	20090218_154800_01	Export ConoOrtho.rvc / ConoOrtho1 To ConoOrtho1.jpg	34%
Queue	3	20090218_154800_02	Export ConoOrtho.rvc / ConoOrtho2 To ConoOrtho2.jpg	
Queue	3	20090218_154800_03	Export ConoOrtho.rvc / ConoOrtho3 To ConoOrtho3.jpg	

Selected: 0  
Maximum Running Jobs: 2 Total Pending: 4 Running: 2 Holding: 0 Queued: 2 Done

SML 処理スクリプトを実行するサンプルジョブファイル。このジョブファイルは、SML の入出力スクリプトやウェブアプリケーション、その他のプログラムから作成されます。ユーザに処理パラメータを設定するためのインターフェースを提供します。

実行する SML スクリプトに対するパス

処理スクリプトで使われる変数の値

```
<?xml version="1.0"?>
<job id="20090115_113435_00">
  <desc>Convert m_3110901_ne_12_1_20070625.tif to GeoJP2</desc>
  <process>tntdisp smljob</process>
  <version>75</version>
  <priority>2</priority>
  <runparms>
    <script>F:\SML\TIFFtoJP2\TiffToJP2fromJob.sml</script>
    <variable name="inputPath">
      <value>!PC!\F:\Arizona\AzTIFF\m_3110901_ne_12_1_20070625.tif</value>
    </variable>
    <variable name="outputDir">
      <value>!PC!\F:\Arizona\AzJP2</value>
    </variable>
    <variable name="compType">
      <value>user</value>
    </variable>
    <variable name="compRatio">
      <value>15.000000</value>
    </variable>
  </runparms>
</job>
```